

23年度運営目標 目標達成(◎○)一覧 【丹後広域振興局】

達成区分(細目): 「◎」…目標達成(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容	達成区分		達成状況(3月末) (数値目標は件数・達成率を明記)
			細目	
丹後こだわりの魅力を創出します。	<p>①丹後広域観光キャンペーン協議会と連携し、魅力ある観光スポットや「食」を結んだ四季型・滞在型旅行を創出し、旅行会社への提案力を強化 (10商品) 【新規】</p>	○	◎	<p>旅行会社に旅行商品を企画、提案し、<u>11商品を旅行商品化。(110%)</u></p> <p>そのほか、新たな取り組みとして</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光アイデアコンテストを実施。応募総数188通。受賞作品13品。 ・観光関連専門学校との連携した地域連携事業により、学生からアイデア提案。これらのアイデアを商品化につなげるためブラッシュアップを実施中。
	<p>・山陰海岸ジオパークや天橋立、温泉など、魅力ある観光スポットを巡りながら、ジオパークをはじめとする特徴的な地形や海、大地から生まれるカニ、丹後とりがいなど、四季折々の「食」を満喫する「丹後・食の王国」ツアーなどの四季型旅行</p>		◎	<p>ジオパーク関連の「山陰海岸ジオパーク観光」食の魅力を盛り込んだ「宮津まち歩きクーポン」、「天橋立めぐりチケット」</p>
	<p>・「丹後あじわいの郷」を「食」と「観光」が効果的に融合する拠点として機能強化</p>		○	<p>・京都「丹後・食の王国」ご当地グルメ祭開催に合わせた企画ツアー「あじわいの郷グルメ祭ツアー」を実施(1回) 参加者41名</p>
	<p>・2013年の「丹後国誕生1300年」や「細川ガラシャ生誕450年」など、新たなテーマの発掘による滞在型旅行</p>		×	<p>23年度は商品造成に至らなかった。 現在、丹後国建国1300年や細川ガラシャ生誕450年にちなんだ体感コースや観光情報などのコンテンツを含んだスマートフォンを活用した観光アプリを構築中。</p>
	<p>・「国民文化祭・京都2011」と連動した、与謝蕪村の俳句や与謝野晶子の短歌などの文化をテーマとするコース</p>		◎	<p>吟行バスによる大内峠一字観公園や施薬寺、ちりめん街道をめぐる吟行ツアーを催行し、参加者をもてなし。</p>
	<p>・碓高原牧場の畜産体験や丹後半島の海と山・高原等の自然が一体となったコース</p>		○	<p>・地域住民(ボランティア)との協働によるラベンダー畑の整備及び花穂の摘み取り体験(150名来場)と牧草地など牧場景観の一層向上(観光資源の創出)</p> <p>・体験学習 (宇川中3年生4名延べ8名)、(和牛審査講習23名)、(峰山高校農園芸科20名)</p> <p>・その他幼稚園小学校等体験学習見学等360人</p> <p>・平成23年度牧場来場者見込 (23,000人)</p>

23年度運営目標 目標達成(◎○)一覧 【丹後広域振興局】

達成区分(細目): 「◎」…目標達成(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容	達成区分		達成状況(3月末) (数値目標は件数・達成率を明記)
			細目	
メディア等を活用し「ふるさと丹後」を発信します	<p>①テレビや雑誌等の媒体を活用し、山陰海岸ジオパークや世界遺産登録をめざす天橋立をはじめとする丹後の魅力を積極的に発信 (100回) 【22実績: 89回】</p>	◎	◎	<p>テレビやラジオ・雑誌媒体を活用して丹後の魅力を情報発信 124回(124%) (テレビ91回・ラジオ11回・雑誌22回)</p> <p>そのほか、 ○ASEAN観光連盟総会を開催し、観光協力等についての共同宣言を採択 ○中国ドラマの撮影ロケや中国大使館や観光事業者の視察、旅行会社やメディアとの商談会実施 ○中国の旅行会社や香港、韓国のメディアなどのファムトリップの受入れや取材対応(6回)</p>
多様な顧客ニーズに対応した接客サービスを充実します	<p>①観光協会と連携し、東アジア(中国、韓国、台湾、香港等)などをターゲットとした外国人観光客の誘客を推進</p> <p>・外国語会話や接客講座等による外国人観光客に対応できる人材育成 (英語、中国語 各15回) 【新規】</p>	○	○	<p>英語・中国語の講座 2シリーズ計28回(93.3%) そのほか、 ・外国人観光客おもてなしセミナー2回 ・インバウンドセミナー1回 ・観光おもてなしセミナー 15回</p> <p>○京都市内からの外国人誘客のための市内ホテルコンシェルジュを対象とした視察研修の実施誘客事業と併行して、おもてなし人材の育成と受入体制の大地づくりに向けた取り組みを実施</p> <p>○天橋立観光案内所に中国語・英語対応ができる職員を配置(2名)</p>
観光誘客を促進する丹後半島一周道路の整備を推進します。	<p>①大型バスでの観光を促進とする国道178号の整備推進</p> <p>・蒲入バイパスの一部取付部の工事着手、里波見工区の用地買収着手</p> <p>・宮津市日置～長江間、伊根町蒲入～京丹後市丹後町袖志間などの法面防災工事</p>	○	○	<p>・蒲入バイパスは工事着手、抗口部の工事着手に向けた用地測量完了 ・里波見工区は境界確定に時間を要している</p>
			◎	<p>・法面防災工事実施中(H23 完成2箇所、工事中2箇所)</p>

23年度運営目標 目標達成(◎○)一覧 【丹後広域振興局】

達成区分(細目): 「◎」…目標達成(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容	達成区分		達成状況(3月末) (数値目標は件数・達成率を明記)
			細目	
丹後の強みをいかした産品を増強します	① 生育管理技術の向上や生産者への指導を強化し、丹後産コシヒカリの特A評価を復活 ・技術指導強化(15カ所) ・技術研修会の開催(4回) ・栽培管理の徹底等を図るタイムリーなメール情報の発信(20回)	○	◎	生育管理技術の向上や生産者への指導を強化し、丹後産コシヒカリの特A評価を復活 ・実証ほ18カ所設置(120%) ・技術研修会4回開催(100%) ・メール情報発信21回発信(105%)
	・丹後産米の品質向上を図る試験研究の推進(有機質肥料による食味向上技術の開発や高温耐性のある良食味品種の選定)		◎	ともに初年目の試験であるが、「有機質肥料による食味向上技術の開発」については肥効特性に関する知見を得、「高温耐性のある良食味品種の選定」については複数の品種につき特性を把握し、当初の目的は達成した。
	② ブランド京野菜等の付加価値向上などにより、出荷量の拡大を図ります。 ・ブランド京野菜の年間出荷額の増大(3.8億円) ・丹後の主力農産物出荷量の拡大(みず菜450t、九条ねぎ100t、黒大豆枝豆80t、聖護院だいこん90t、京たんご梨「ブランド」出荷率125%)		×	・ブランド京野菜年間出荷額2.87億円(76%) (対前年100.3%)【H22:2.86億円】 ・丹後の主力農産物出荷量(見込) みず菜293t(65%)(対前年91%)【H22:323t】 九条ねぎ96t(96%)(対前年129%)【H22:74t】 黒大豆枝豆46t(57%)(対前年82%)【H22:56t】 聖護院大根45t(51%)(対前年86%)【H22:53t】 京たんご梨「ブランド」出荷率123%(92%)(対前年192%)【H22:12%】
	③ 新たな流通形態である『予約相対取引』を推進し、京野菜生産者の所得安定と生産力、ブランド力を強化 (「みず菜」→拡大、 「九条ねぎ」→構築)		◎	・みず菜予約相対取引拡大 出荷量74t(前年比128%) 出荷額49.6百万円(前年比126%) ・九条ねぎ予約相対取引構築 出荷量21t(前年比-) 出荷額13,832千円(前年比-)
	④ 丹後の主力農産物新規栽培者の拡大 (みず菜4名、九条ネギ4名、 黒大豆枝豆4名、コギク4名)		○	・みず菜4名、九条ネギ11名、 黒大豆枝豆2名(京夏ずきん→17名増)、コギク7名 計24名
	⑤ 茶産地基盤確立のため50haの優良茶園を整備(新規植栽2.7ha[47.3ha→50ha])		×	・新規植栽面積0ha

23年度運営目標 目標達成(◎○)一覧 【丹後広域振興局】

達成区分(細目): 「◎」…目標達成(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容	達成区分		達成状況(3月末) (数値目標は件数・達成率を明記)
			細目	
丹後の特色をいかした新たな食材の開発や食関連ビジネスを創出します。	①地域の食材を活用した新たなみやげ品の開発支援 (みやげ品の開発支援2点以上)【新規】	◎	◎	開発支援により4品を商品化(200%) ・応募数22品 ・商品化した商品 カネマスの一刻干し 牧場のプリン(抹茶) わさびで食べる醤油アイス 鳴き砂の星(金平糖)
	②異業種交流(観環農商工連携)や6次産業化の取組を支援 ・異業種交流の取組10連携体(22:8連携体) ・6次産業化の取組3経営体		◎	・異業種交流の取組10連携体(100%) ・6次産業化の取組4経営体(133%)
	③製茶技術指導の強化や茶流通業者等との交流会の開催により、丹後産宇治茶の市場評価向上 ・新たに製茶技術を習得する農家数2戸 ・茶流通業者との交流会2回		◎	・新たに製茶技術を習得した農家数2戸(100%) ・茶流通業者等との交流会2回(100%)
	④「薦池大納言」の優良種子確保による高品質化や料亭や加工業者等との委託契約栽培等により、ブランド化を強化します。		◎	・採種ほ設置による優良種子の確保 ・需要見込みに合わせた面積拡大(0.6ha→1ha)
	⑤ブランド水産物(丹後とり貝)の生産拡大 ・新規漁場1箇所(久美浜湾)【新規】		◎	新規漁場1箇所(100%)
	・京のブランド産品認定1地区(久美浜湾)【新規】		◎	京のブランド産品認定1地区(100%) (3月に指定予定)
	⑥「丹後・食の王国」の裾野を広げる新たな丹後オリジナル食材(規格外製の業務用梨果汁ソース)の商品化や猪・鹿肉の安定供給システムづくりを支援 ・業務用梨果汁ソースを活用した新たな商品数5点		◎	・梨果汁ソースを業務用商品化し2業者が使用 ・商品3点(ドレッシング、ジュース、ヨーグルトソース)、メニュー2点(野菜炒め、ピザ)合計5点(100%) ・あじわいの郷ふるさとショップにおいて猪・鹿肉の販売を開始 ・比治の里があじわいの郷月例祭で猪・鹿肉販売ブースを出展 ・丹後地酒まつりにおいて、「鹿肉のしぐれ煮」「鹿ジャーキー」を試食提供 ・鹿肉を対象に「丹後に合うジビエ料理講習会」を3月6日、3月21日に開催

23年度運営目標 目標達成(◎○)一覧 【丹後広域振興局】

達成区分(細目): 「◎」…目標達成(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容	達成区分		達成状況(3月末) (数値目標は件数・達成率を明記)
		細目	達成区分	
観光との連携、販路開拓やPR等の取組を推進します。	①山陰海岸ジオパークや天橋立などの観光と丹後の食を結びつけた戦略的なPRを展開し、新たな販路を開拓	◎	◎	
	・国民文化祭の食文化の祭典「海」において、海産物を中心とした地域の産物を広くPR			11月6日「食文化の祭典『海』」を開催し、丹後産品をPR(来場者数3,500人、出展者35業者等、売上額180万円)
	・首都圏での展示商談会への出展を支援(1回)【新規】			展示会出展1回(100%) ・11月地方銀行フードセレクション(東京)6ブース8事業者出展
	・京都市内のホテルで丹後地域の食材による料理フェアを開催1回			・グランドプリンスホテル京都で食べて知る京都「丹後・食の王国」の恵みセミナーと「丹後産地消費フェア」開催1回(100%)
	・旅館やホテル等での地元食材(アサリ、クロアワビ等)のさらなる活用等、観光と連携した地域内消費拡大の取組支援			・地元食材の地域内消費の取組支援(6件)リフレかやの里(鹿肉のコンフィ)、吉翠苑(鯖の燻製)、丹後あじわいの郷(たつきゴボウ、きんぴらゴボウ)、てり吉(黒豆おこわ)
丹後あじわいの郷を拠点として、「丹後・食の王国構想」を推進し、食関連産業を地域の新たな成長産業として育成します。	①「丹後・食の王国」構想関連プロジェクトを戦略的に展開し、食関連産業を地域を牽引する新たな成長産業として育成	○	◎	
	・生産者、観光業者、流通販売業者等で構成する「丹後・食の王国プラットフォーム」の構築による消費者視点を重視した「売れる」商品開発			・丹後の食材を活用した商品開発を支援 梨果汁ソースの業務用での商品化、丹産茶を利用した加工品(抹茶プリン、ほうじ茶アイス、抹茶ロールケーキ)、鹿肉のコンフィ
	②「丹後あじわいの郷」を「食」と「観光」が効果的に融合する拠点として機能強化			
	・バイヤーを招き地元企業等が販路開拓するための大商談会を開催1回			・京都「丹後・食の王国」食の大商談会を開催1回(100%) 出展24団体(うち管内関係12団体)、商談成立10件(うち管内関係4件)
	・丹後の食材を販売する定期市(マルシェ)を開催10回			・定期市(マルシェ)を開催11回(110%) 入園者数16,395名(6から3月月例祭で10回、9月は別途1回開催)
	・食文化を発信し観光誘客を図るご当地グルメ祭を開催1回			・11月20日(日)にポスト国文祭イベントしてご当地グルメ祭を開催1回(100%) 出展50ブース、入園者数3,561名、企画ツアー参加者41名
・農業や漁業、ものづくりなどの体験や地域食材を味わえるレストラン、店舗などを積極的に発信	・春の丹後ばらざし月間の開催やウェブサイト(グルメたんご)を通じて情報発信			

23年度運営目標 目標達成(◎○)一覧 【丹後広域振興局】

達成区分(細目): 「◎」…目標達成(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容	達成区分		達成状況(3月末) (数値目標は件数・達成率を明記)
			細目	
担い手確保育成等を支援します。	①農業法人担い手のインキュベーション機能の強化支援 ・新規就農希望者の研修を行う法人数 5法人	○	◎	・新規就農希望者の研修を行う法人数 5法人 (100%)
	②集落型農業法人の経営安定を図り、京野菜部門の売上げアップを支援 ・京野菜部門の売上げが増加した法人数 2社		◎	・京野菜部門の売上げが増加した法人数 2社 (100%)
	③若手農業者の経営能力向上を支援 ・経営能力向上セミナー 2回 ・家族経営協定締結 1事例		◎	・目指せ！起業家スタートアップ支援セミナー 4回 (200%) ・家族経営協定締結数 1協定 (100%)
	④国営開発農地への参入法人の早期定着化のための技術指導を強化		◎	・法人との連絡会議を7回開催したり、社内リーダーに対するOJTを9回実施。また、土壌分析を合計122回実施し施肥設計や土づくりを指導した結果、社内での技術伝達指導ができるようになった。
	⑤新規就農希望者等の農業基礎知識習得を支援 ・農業基礎講座開催回数 7回		◎	・農業基礎講座を7回開催
	⑥農林水産業を支える多様な担い手を確保育成 ・新規就農者等確保育成 30人		◎	・新規就農者等 31名
	「京都の海」未来を担う人づくり推進事業による新規漁業者の確保 (新規漁業者数 3人) 【新規】		×	・新規就業者数 1名 (33%) (京丹後市 大型定置網 1名) ・府全体の新規就業者数 (35名 (うち新規学卒者2名) 22年度: 26名)

23年度運営目標 目標達成(◎○)一覧 【丹後広域振興局】

達成区分(細目): 「◎」…目標達成(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容	達成区分		達成状況(3月末) (数値目標は件数・達成率を明記)
			細目	
有害鳥獣被害対策を推進します	① 野生鳥獣の被害を軽減するため、地域ぐるみで取り組む防除対策を支援 ・シカ、イノシシなどの対策として、広域防護柵の設置や地域住民による追い払い強化などの取組を支援(集落一体型防除地区数60箇所)【新規】 ・サルに発信器を装着し、行動を把握するなど、地域ぐるみの追い払い・捕獲を支援(発信器装着群数(行動把握群数)5群)【新規】 ・鳥獣を里に寄せ付けないための緩衝帯(バッファゾーン)を整備(5箇所、緩衝帯整備面積13ha)	◎	◎	・集落一体型防除 地区数 89箇所(148.3%) (宮津市12箇所、京丹後市58箇所、伊根町11箇所、与謝野町8箇所) 防護柵延長186km (宮津市 24km, 京丹後市 108km, 伊根町 16km, 与謝野町 38km)
	・発信器装着群数(行動把握群数) 5群(100%)			
	・8箇所(宮津市 3箇所 京丹後市 2箇所 与謝野町 3箇所) 緩衝帯整備面積 16ha(宮津市 9ha 京丹後市 4ha 与謝野町 3ha)			
	・新規免許取得者を拡大し、有害鳥獣の安定的な捕獲体制を維持・強化 【主要目標】 ・新規免許取得者数 20名 ・新規免許取得に向けての丹後独自の講習会の開催回数 1回			◎
③ 複数の猟友会の連携による広域捕獲の推進 【主要目標】 ・兵庫県と連携した広域捕獲 2回 【22実績: 3回】 ・管内猟友会の連携による広域捕獲 2回 【22実績: 2回】	○	×	・兵庫県連携実施回数 2回(100%) (10/16与謝野町一但東町で実施、3/25京丹後市~豊岡市で実施) ・管内連携実施回数 1回(50%) (10月2日京丹後市網野町で実施)	
環境にやさしい農業を推進します。	① 地域をあげた環境にやさしい農業推進のモデルを育成 ・構成員全員がエコファーマーを取得するグループ数 1グループ	◎	◎	・「JA京都豆っこ米生産部会」全員が取得。(64名)

23年度運営目標 目標達成(◎○)一覧 【丹後広域振興局】

達成区分(細目): 「◎」…目標達成(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容	達成区分		達成状況(3月末) (数値目標は件数・達成率を明記)
			細目	
総合的な中小企業支援・サポート体制の整備を推進します。	<p>①商工会議所、商工会との連携による中小企業者の経営改革や設備投資等への支援</p> <p>・「中小企業応援隊」の企業訪問を通じ、企業自身が気付いていない強みや弱みの分析による経営改革を促進し、技術開発や市場開拓等の投資につなげる等、企業イノベーションを支援 <u>(訪問回数 延べ3,500回) 【新規】</u></p>	◎	◎	<p>・訪問件数 <u>延3,734件 (106.7%)</u></p>
	<p>②元気な地域づくり応援ファンド支援事業や、農商工連携応援ファンド事業など各種支援施策を活用し、新規創業や新たな事業展開を図る中小企業者を支援 <u>(支援事業採択件数20件)</u> 【22実績：20件】</p>			<p>・採択件数 <u>31件 (155%)</u></p> <p>・元気な地域づくり応援ファンド支援事業6件</p> <p>・農商工連携応援ファンド支援事業2件</p> <p>・中小企業販路開拓展開等支援事業5件</p> <p>・中小企業円高緊急対策事業3件</p> <p>・京都企業設備投資支援事業13件</p> <p>・販売戦略緊急支援事業1件</p> <p>・生産体制強化緊急支援事業1件</p> <p>・販路開拓に取り組んでアパレル業界世界最大のパリでの展示会に出展したことで、丹後の素材藤織りを世界に発信。海外のメーカーや日本のブランドとの取引や商談も進行中。</p>

23年度運営目標 目標達成(◎○)一覧 【丹後広域振興局】

達成区分(細目): 「◎」…目標達成(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容	達成区分		達成状況(3月末) (数値目標は件数・達成率を明記)
		細目		
「丹後・知恵のものづくりパーク」における人材育成と施設有効活用を推進します。	①「丹後・知恵のものづくりパーク」を有効活用し、(財)京都産業21や業界団体との連携による研修会、講習会や技術相談等を通じた後継者、技術者の育成	○		
	研修受講 延べ3,500人以上 【22目標：延べ3,000人以上→実績：1,851人】		×	(研修受講者数) 研修受講 延べ2,329人(66.5%) ・機械金属関係研修等 延べ1,082人 ・織物人材育成研修、講演会 延べ234人 ・雇用維持のための教育訓練 延べ495人 ・経営関係研修等 延べ518人
	技術相談 延べ5,000人 【22目標：延べ5,000人 → 実績：4,639人】		○	(技術相談人数) 技術相談 累計 4,878人(97.6%) ・機械金属 " 累計 528人 ・織物 " 累計 2,803人 ・連携支援 " 累計 1,547人
	機械金属業の試作・設計・開発力を兼ね備えた高度機械加工技術者を15人以上養成(中堅技術者を対象) 【22目標：15人以上 → 実績：15人】		◎	24人養成(160%) ・3軸マシニングセンタ講習会 5人 ・3次元CAD講座(中級コース) 3人 ・3次元CAM講座(中級コース) 1人 ・3次元CAM講座(上級コース) 1人 ・5軸マシニングセンタ講習会 5人 ・鍛造CAE講習会 3人 ・開発、設計力を備えたものづくり研修 6人
	丹後機業後継者を10人以上育成(新規就労者及び勤続10年以内の従業員を対象) 【22目標：10人以上 → 実績：12人】		◎	19人育成(190%) ひとつづくりコース ・織機調整(初級・中級)、商品企画、繊維基礎、製織準備、意匠図案6コース 20人 ものづくり実践コース ・新技術、新商品 5コース 5人
	②研究開発成果の企業への技術移転や企業と連携した研究開発による試作品製作等 5件以上支援 【新規】		◎	合計9件支援(180%) ・新分野技術開発研究事業で試作したスターリングエンジン部品の三次元測定を技術支援 ・耕耘機爪の鍛造金型試作に係る三次元測定を技術支援 ・チタン製スパナへの陽極酸化処理の技術支援 ・セリシン、カテキン複合体の開発と消臭剤の試作に向けた支援 ・木質系プラスチックの商品化に向けた支援 ・新規なセリシン定着技術の開発と、実用化に向けた支援 ・小幅織機を使用した産業資材の試作支援 ・海外向け洋装用シルク生地の試作支援 ・帯地製織用仕口による生活製品用生地の試作支援

23年度運営目標 目標達成(◎○)一覧 【丹後広域振興局】

達成区分(細目): 「◎」…目標達成(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容	達成区分		達成状況(3月末) (数値目標は件数・達成率を明記)
			細目	
丹後織物のブランド化と売れる商品づくりによる、新規マーケットへの算入を支援します。	①丹後織物ルネッサンス事業を活用した機業とデザイナーとのコラボレーションによる丹後ブランドの新たな展開			
	5グループ30機業以上での和・洋装素材や生活関連商品の新商品開発、新分野商品(寝装品等)開発 【22目標:概ね5グループ30機業→実績:5グループ実31機業】	◎	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・6グループ実数30機業(100%)で、デザイナーなどとの協働による、和・洋装素材や生活関連商品の新商品、新分野商品開発を実施 ・「丹後シルクフェア」の商品開発(ストールなど64点) ・「キモノの郷京都・丹後職人展」の商品開発(きものなど30点) ・「夢そしあるキモノ展」の商品開発(きものなど13点) ・「丹後遊人」展の商品開発(きもの20点) ・「京夢路」展の商品開発(きもの30点) ・パリの国際繊維素材展「ブルミエールビジョン」用テキスタイルの開発 ・パリコレクション用生地の開発 ・「御堂筋デザインストリート2011」出品用にインテリア商品の開発 ・「Cool Kyoto 2011」展に出展のための新商品開発 ・「和モノなでしこ」展に出展のための新商品開発

23年度運営目標 目標達成(◎○)一覧 【丹後広域振興局】

達成区分(細目): 「◎」…目標達成(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容	達成区分		達成状況(3月末) (数値目標は件数・達成率を明記)
			細目	
求人・求職のマッチング機会の増強などを通じ、新たな雇用を創出します。	①新たな雇用の創出	○		
	・緊急雇用事業による雇用創出 (新規雇用者500人) 【22実績:452人】		◎	・新規雇用者 536人(107.2%)
	・求人開拓のための事業所訪問 (訪問事業所数 50事業所)【新規】		◎	・訪問事業所数 60事業所(120%)
	②求職者に対するきめ細やかなサポート ・ハローワークや市町、京都ジョブパーク北部サテライト等と連携し、就職面接会等によるマッチング機会の提供強化		◎	就職面接会の実施、参加8回(全体参加者数:1,661人、相談者数:73人) ・たんご就職フェア(全体参加者数:134人、相談者数:12人) ・福祉職場就職フェアたんご2011(全体参加者数:214人、相談者数:18人) ・兵庫県但馬・京都府北部合同企業説明会(全体参加者数236人、相談者数:14人)等
	・丹後Uターンセンターにおける、U・Iターン希望者への情報提供とともに、事業所とのマッチングを増強 (情報提供件数 2,000件) (U・Iターン就職者数 50人)【新規】		◎	・情報提供件数 3,492件(174.6%) ・U・Iターン就職者数 71人(142%)
	③地域課題解決に向けた事業展開を図る企業及びNPO法人の提案型事業採択事業者(平成22年度6件)への事業化支援		◎	・引き続き、6事業所を支援
	④ミスマッチの解消を図る介護・福祉人材確保対策の推進			
	・京都ジョブパーク等関係機関と連携した就職セミナー、施設見学会等の開催 【22年度 福祉職場見学会1回、セミナー2回】 ・介護施設職員の質的向上と定着支援のためのセミナー等の開催 【22年度 研修に対する補助3箇所】		○	・職場見学会2回、就職セミナー2回、仕事相談4会場延べ15回開催 ○ ・研修に対する補助(複数事業所連携補助金)3箇所
「山陰海岸ジオパーク」を「丹後・食の王国プロジェクト」や「日本海観光プロジェクト」との連携のもとで、新たな地域産業の資源として活用します。	①京丹後市や推進協議会事務局等、関係機関と連携した効果的なPRイベント等の実施によるジオパークへの誘客を推進【新規】 ・モニターツアー、110 [*] ウォーク ・京都駅前等でのPRキャンペーン ・体験学習会(15回)	○	○	・モニターツアー(9人)、110 [*] ウォーク(605人) ・京都駅前等でのPRキャンペーン(1,000人) ・体験学習会(24回)
	②市町や地域団体と連携し、体験観光や土産品等のジオパーク関連商品の開発を支援		○	丹後おみやげ品開発支援事業応募の「鳴砂の星」(こんぺいとう)について、山陰海岸ジオパークPR品としての商品化を支援

23年度運営目標 目標達成(◎○)一覧 【丹後広域振興局】

達成区分(細目): 「◎」…目標達成(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容	達成区分		達成状況(3月末) (数値目標は件数・達成率を明記)
			細目	
天橋立の世界文化遺産をめざした取組を推進します。	①天橋立の世界文化遺産登録を目指した学術的な調査を進め、国際的評価を向上	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・京都大学、京都市立大学への調査研究委託 ・天橋立世界遺産登録可能性検討委員会学識者ワーキングの開催(3回) ・西村日本ICOMOS委員長等による国際シンポジウムの開催(8/3 100人 3/25 80人 宮津歴史の館) など
	②地域団体との連携・協働による天橋立の松並木保全への取組や、価値を次世代に伝える小学校などへの出前講座などの取組を支援		○	<ul style="list-style-type: none"> ・住民による天橋立清掃(4月1,800人 10月67人 12月1,000人) ・天橋立まもり隊(企業、団体等によるボランティア)による清掃活動等(延べ14団体 1,174人) ・カキ殻回収(11月 80名) ・環境学習出前講座 2回(6/22 市場小 10/7 岩屋小 とともに与謝野町)
阿蘇海等の閉鎖性水域の環境改善を推進します。	①阿蘇海の環境改善に資するシーブルー事業(浅い海底を覆砂)の推進(面積4,500㎡)	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・実施面積6,700㎡完了(148.8%)
	②阿蘇海等の閉鎖性水域の環境改善(アマモ場造成技術の開発、ハマグリ、アサリ、海藻養殖の実証試験と実用化)		○	<ul style="list-style-type: none"> ・アマモ場造成技術開発のため、シーブルー事業による覆砂域において、2つの播種法(ゾステラマット法、播種袋法)と株移植により苗づくりを検証中。 ・アサリ養殖実証試験では、約半年の垂下蓄養による大型アサリの育成技術を開発し、天然採苗したアサリを用いた垂下養殖実証試験を実施中。 ・垂下育成によるハマグリ短期蓄養技術を実証した(完了)。 ・海藻養殖では、アカモクの阿蘇海内での養殖は不適と判断され、終了。
森林の公益的機能確保と府民ぐるみの取組を推進します。	地域の森林を地域全体で守り育てる丹後モデルフォレスト運動の推進 推進地区数 6地区 【H22 5地区】 海岸林の再生・保全 2地区 人工林の整備 1地区 竹林拡大防止 1地区 広葉樹の森整備 1地区 地域の銘木保全地区 1地区	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・推進地区6地区(100%) (5地区において、海岸林の再生・保全、人工林の整備、竹林拡大防止、広葉樹の森整備活動を実施) (地域の銘木保全活動を予定の1地区については、アクセス道路の被災によりボランティア活動が中止になったため、次年度の取組につなげるようブナ等の種子を採種し府緑化センターで苗木を育成)
丹後の優れた自然環境や生活環境を守る取組を推進します。	①漂着ごみの回収・適正処理を実施し、良好な海水浴場及び景勝地である海岸地域を保全(10箇所以上、2市2町内)【新規】	○	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・1.6海岸で、ごみや廃油ポールの回収、適正処理を実施。(160%)
	②産業廃棄物の不法投棄・不適正焼却・不適正処理の根絶		○	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物通常監視パトロール、兵庫県との合同廃棄物検問、廃棄物適正処理講習会等を積極的に実施した。 ・廃棄物の不法投棄や野焼きを新たに発見した時は、行為者には行為の中止や現状回復を速やかに実施させた。その結果、重大で継続した廃棄物処理違法行為は発生なし。

23年度運営目標 目標達成(◎○)一覧 【丹後広域振興局】

達成区分(細目): 「◎」…目標達成(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容	達成区分		達成状況(3月末) (数値目標は件数・達成率を明記)
			細目	
国民文化祭を契機とした地域の文化活動の一層の活性化を図ります。	①食文化の祭典「海」をはじめとする市町と連携した魅力ある文化事業の展開 (参加数 10,000人) 【新規】	◎	◎	国民文化祭期間中の総参加者数: 18,970人 (189.7%) (内訳) ・食文化の祭典「海」-3,800人 ・府立丹後郷土資料館における企画展-635人 ・管内市町における国民文化祭事業-7,595人 ・その他、地域団体等の文化活動(イベント絵巻登録事業)-6,940人
	②「国民文化祭」に連携する地域活動を、京都府地域力再生プロジェクト支援事業交付金において10件以上支援 また、管内市町の国民文化祭開催気運醸成のため地域の文化活動を支援。(京都文化年イベント絵巻登録数 30件) 【新規】		◎	・地域力再生プロジェクト支援事業交付金交付決定-25件 (250%) ・丹後管内全体の同イベント絵巻登録件数-78件 (260%)
協働コーディネーターや大学連携コーディネーターの活用による地域力再生団体とNPO団体等の交流、地域力の再生を推進します。	①コーディネーター等による相談や地域力再生プロジェクト支援事業を活用した「日本海観光プロジェクト」、「丹後・食の王国プロジェクト」等とも連携した活動への支援を通じて、地域力再生団体を育成 (団体数 100団体) 【新規】	◎	◎	・団体数 102団体 (102%) 地域力再生プロジェクト支援事業交付決定: 81団体 コーディネーター等相談支援: 37団体 (上記交付団体以外21団体)
	②情報発信プラットフォームのもと、「FMたんご」などの地域情報発信ツールを活用しての情報発信やテーマ別情報交換会を開催し、地域力再生団体間の交流を活性化 (情報発信団体数 50団体以上) 【22目標: 40団体以上 → 実績: 41団体】 (テーマ別交換会開催回数 3回以上) 【新規】		◎	・情報発信団体数 延べ60団体 (120%) (電波メディア 6、報道機関提供 54) ・テーマ別意見交換会 8回 (267%) (子育て支援4、情報発信3、文化振興)
里力再生計画の実現に向けた活動を支援します。	①里力再生計画を策定し、生活環境基盤の整備や地域特産物の開発などの取り組みを行う地区の拡大 ・新規地区数 2地区 【22実績: 8地区】	◎	◎	・新規2地区 (京丹後市野間地区及び宮津市日置地区)
	②高齢化の進む集落で、市町や社会福祉協議会等と連携して、セーフティネットとしての独居老人の見守りなどの健康福祉活動を支援 (京丹後市と宮津市で各1地区) 【新規】		◎	・高齢者支援策について3地区で地域連携組織の取組を支援 (世屋地区: 高齢者サロン設置、上宮津地区: 見守り隊組織化、神野地区: 新聞配達員による見守り活動と危険箇所マップの作成・配布)
地域の保健医療体制整備を支援します。	①丹後地域保健医療協議会の開催や事例研究等を進め、地域の医療・福祉関係者間の効果的な連携体制を構築するとともに、地域医療再生基金を活用した診療所等の医療機器の高度化等により、地域の医療提供体制の充実を支援 【22年度 保健医療協議会2回、連携推進部会2回開催】	○	○	・保健医療協議会2回、連携推進部会2回開催 ・医療・介護・福祉の顔の見える関係づくりのためのシンポジウム開催 ・地域医療再生事業費補助金による支援 診療所設備高度化事業: 既設18箇所、新設1箇所 高度医療研修等キャリア形成支援事業: 3病院15件 病院間搬送ネットワーク化事業: 1病院

23年度運営目標 目標達成(◎○)一覧 【丹後広域振興局】

達成区分(細目): 「◎」…目標達成(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容	達成区分		達成状況(3月末) (数値目標は件数・達成率を明記)	
			細目		
与謝の海病院の地域医療支援病院機能の充実と地域医療機関の連携を図ります。	①「府立病院3箇年運営目標」(H22~H24)に基づき、丹後医療圏における急性期医療や高度医療の拠点施設として専門医療体制の充実を図るとともに、地域医療支援病院として、地域医療機関に対して一層の貢献	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・平成23年4月救急科設置 ・平成23年8月22日三次元CT(320列)更新稼働開始 ・平成23年11月22日MRI(3.0テスラ)更新稼働開始(撮影予約受付) 	
	②丹後医療圏における急性期医療や高度医療の拠点施設として、地域住民の多様な医療需要に対応できるよう診療体制の整備充実を積極的に推進 ・地域がん登録事業 210件【22目標:200件→実績:210件】		○	<ul style="list-style-type: none"> ・がん登録 246件(117%) ・4月1日、救急科設置 ・三次元CT(320列)、MRI(3.0テスラ)更新完了 	
	③地域に必要な診療を提供するために、安定した医師確保のための高度医療機器や地域連携型電子カルテの整備など、魅力ある環境づくりを推進。また、京都府立医科大学や京都府地域医療支援センター(仮称)と連携し医師確保を推進		◎	<ul style="list-style-type: none"> ・救急専門医の配置、高度医療機器(320列CT、3.0テスラMRI)、新電子カルテ更新完了 ・4月26日院内保育所開所(月極入所6名、部分入所13名) ・2月8日与謝の海病院あり方検討有識者会議が府立医科大学附属病院化等を提言 	
	④丹後医療圏の地域医療支援病院として、地域の病院・診療所等と連携し、圏域全体の医療基盤の充実を図るために、診療支援や医療機器等の地域共同利用を積極的に推進 ・地域医療機関との連携強化による紹介率の向上(80%)【22目標:80%→実績:76.7%】 ・地域の医療機関への診療機器の共同利用の推進(1,000件)【22目標:800件→実績:970件】		○	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介率 76.5%(2月末累計) 実績見込み77% ・逆紹介率 84.1%(") 	
	⑤病院設置の経営戦略会議において毎月の患者動向を分析し、良質な医療サービス提供体制の方策、地域医療機関との連携・協働のあり方、経費の削減等を検討し、効果的、効率的に病院を経営 ・経常収支比率(%)94.5% 【22目標:93%→実績91.6%】		○	<ul style="list-style-type: none"> ・診療機器の共同利用 980件(98%) 	
	・病床利用率(%) 87.6%		○	<ul style="list-style-type: none"> ・経営戦略会議(6回開催)などで病院の課題を議論(経常収支比率については確定後) 	
			○	<ul style="list-style-type: none"> ・病床利用率 86.1% 	

23年度運営目標 目標達成(◎○)一覧 【丹後広域振興局】

達成区分(細目): 「◎」…目標達成(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容	達成区分		達成状況(3月末) (数値目標は件数・達成率を明記)
			細目	
食中毒の発生予防、食品の安心安全の取組を推進します。	① 食品の残留農薬や細菌検査等を行い、食品衛生法違反食品の流通を防ぎ、府民の健康被害を予防 (品目数・検体数 26品目、103検体) 【22目標:25品目、109検体 → 実績:25品目、109検体】	◎	◎	・ <u>26品目、103検体の食品を検査。(100%)</u>
	② 合同食品表示パトロール活動により、消費者に正確な情報を伝え、安全な食品の提供を指導 (立入検査件数 30件) 【22目標:30件 → 実績:27件】		◎	・ <u>30件の立入検査を実施。(100%)</u>
家畜伝染病防疫対策を徹底し、府民生活の安心安全を高い水準で確保します。	① 農家の飼養衛生管理状況の点検・指導を徹底し、農家の飼養衛生管理水準を向上させ、家畜伝染病を未然に防止 ・ <u>全偶蹄類飼養農家(37戸)1回以上/年</u> ・ <u>養鶏農家(千羽以上6戸)4回/年</u> ・ <u>自家用家きん飼養者(千羽未満133戸)1回/年</u>	◎	◎	・ <u>全偶蹄類飼養農家: 家伝法による定期報告指導を中心に巡回指導を実施37戸(100%)</u> ・ <u>養鶏農家(千羽以上)6戸(100%)</u> ・ <u>自家用家きん飼養者(千羽未満)117戸(現状飼養者100%)</u>
	② 農場への鳥インフルエンザウイルス侵入監視を徹底 ・ <u>サーベイランス: 年4回(全養鶏農家6戸)</u> ・ <u>モニタリング: 3農家毎月</u>		◎	・ <u>サーベイランス: 年4回実施(100%)</u> ・ <u>モニタリング: 3農家毎月実施(100%)</u> ・ <u>強化モニタリング1戸実施(100羽以上1000羽未満飼養者)</u>
	③ 農場における家畜伝染病発生予防対策、まん延防止対策の徹底を指導し、畜産農家における「飼養衛生管理基準」の遵守意識を向上 ・ <u>衛生情報発行: 24回以上(22実績:55回)</u>		◎	・ <u>衛生情報: 42回発行(175%)</u>

23年度運営目標 目標達成(◎○)一覧 【丹後広域振興局】

達成区分(細目): 「◎」…目標達成(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容	達成区分		達成状況(3月末) (数値目標は件数・達成率を明記)
			細目	
高齢者が安心して地域で生活できる地域包括ケア体制を構築します。	①認知症の方やその家族を地域で支援する体制づくりの整備	○		
	・認知症サポーターの養成講師(キャラバンメイト)等各地域のリーダー養成を支援(50人)【新規】		○	・キャラバンメイトフォローアップ研修を開催し、 <u>48人の地域リーダーを養成(96%)</u>
	・インターネットを活用した認知症等の相談体制の強化と拡大		○	・TVセミナーを事業所を持ち回りで4月から12月毎月開催、専門相談(随時)3回 参加者延べ721人
	・各市町の徘徊模擬訓練の拡大を支援(3カ所)【22目標:4地域 → 実績:1地域】		×	・京丹後市2地域で実施(67%)
	②介護保険サービス基盤施設整備の支援			
	・特別養護老人ホームの整備支援(支援施設数 4カ所(宮津市1カ所、京丹後市2カ所、与謝野町1カ所))【22目標:1カ所整備、3カ所計画樹立 → 実績:2施設整備決定、2施設整備計画】		◎	・京丹後市2箇所整備 ・与謝野町1箇所、宮津市1箇所整備開始(100%)
	・小規模多機能型居宅介護施設の整備支援(支援施設数 2カ所(京丹後市))【22目標:2カ所整備 → 実績:2施設整備決定】		×	・整備なし(0%)
・認知症対応型共同生活介護施設の整備支援(支援施設数 2カ所(宮津市1カ所、京丹後市1カ所))【22目標:1カ所整備 → 実績:2施設整備計画】	◎	・宮津市1箇所整備 ・京丹後市1箇所整備開始(100%)		

23年度運営目標 目標達成(◎○)一覧 【丹後広域振興局】

達成区分(細目): 「◎」…目標達成(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容	達成区分		達成状況(3月末) (数値目標は件数・達成率を明記)
			細目	
障害者の自立と社会参加を推進します。	①障害者就業・生活支援センターを中心に関係団体、市町等と連携し、障害者の就労と定着を支援(圏域での就職実績人数 20人以上)【新規】	○	◎	・就職24名(120%) ・職業準備訓練・職場実習幹旋27名 ・定着支援1,035名
	②ハートショップたんご連絡会議を中心に、地域の特色を活かしたほっとはあと製品の開発、販売の促進と工賃アップを支援(ほっとはあとセンターのアドバイザーの活用、カタログ作成、共同受注、ネット販売等)		○	・弁当販売先6箇所拡大、販売数約2,000食増加等 ・ほっとはあとセンターアドバイザー派遣5施設、販促関係研修4回、施設見学1回等 ・管内事業所平均工賃 20年度9,354円→21年度10,885円→22年度12,256円/月/人
	③地域で自立した生活を行うためのグループホーム・ケアホームの整備を支援(宮津与謝地域、京丹後地域で各1か所以上) 【22目標:宮津与謝・京丹後各1か所→実績:各1か所】		○	・与謝野町1箇所開所、京丹後市1箇所物件確保(改修後、24年秋開所予定)(100%)
健やかに子どもが育つ支援体制を充実します。	①病気や発達に障害のある子どもと保護者への支援体制を充実	○	/	/
	・小児科医による乳幼児の発達障害等に係る相談を実施(年30回)【新規】		◎	・医師による発達相談を33回実施(110%) (相談人数193人:2月末現在)
	・発達の障害に早期に気づき、就学までに適切な支援を行うため、管内各市町が行う「年中児発達サポート事業」を支援(臨床心理士(24回)と保健師(12回)を派遣。保護者に対する発達サポートフォロー教室を開催(1回))		◎	・年中児発達サポート事業の園巡回等に 臨床心理士13回、保健師20回支援 ・要支援児の発達相談を15回実施(臨床心理士、保健師が全て支援)(支援回数 合計 臨床心理士 28回、保健師35回 (合計100%以上)) ・発達サポートフォロー(ほめ方教室)3回シリーズを1回実施
	・市町や教育機関、地域支援団体と連携して保護者支援のための教室を実施(小児難病の親の集い、自閉症児等の親の集い 各1回)		○	・ダウン症児の親の集い1回(9人参加)、自閉症児親の集い 1回(6人参加)
	・医療処置の必要な重症難病等の子どもに対して、医療機関や保育・療育・教育機関と連携し、健やかな成長とスムーズな就学を支援(連携会議10回)		◎	・関係機関との連携会議を開催し支援(対象4名 開催回数12回)(120%) ・関係者の支援の結果、京丹後市の人工呼吸器装着の子ども1名は親の希望どおりに小学校への入学が可能となった。
・病後児保育の新規実施(1箇所)	×	・未開設(0%)		

23年度運営目標 目標達成(◎○)一覧 【丹後広域振興局】

達成区分(細目): 「◎」…目標達成(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容	達成区分		達成状況(3月末) (数値目標は件数・達成率を明記)	
			細目		
自殺のサインを見逃さない地域づくりを推進します。	①管内各市町、各機関との相談窓口の連携強化により、管内での自殺者数を減少	◎	○	(管内自殺者数: 21年35人→22年36人→23年26人)	
	・「丹後管内自殺対策連絡会」を設置し、管内市町・関係機関相互の情報共有と連携体制を整備			○	・3月に丹後保健所自殺対策連絡会を設置し、保健福祉関係機関での情報共有と連携強化を確認。他分野も含めた地域ネットワーク設立の基礎を固めた。
	・相談機関、かかりつけ医等対象の研修実施、出前語り等によるうつ、認知症の理解の拡大			○	・婦人会、老人会、消防署職員、介護職員、地域ボランティア等を対象に出前語り、出講等により「こころの健康」についての理解を拡大。 (30回、参加人数1,488名) ・京丹後市と共催でこころの健康づくり講演会、相談会実施。 ・2市2町の民生委員に対し、新たにゲートキーパー研修を実施。(参加者179名)
	・市町等と連携した自殺ストップ広報の強化			○	・保健所だよりでこころの健康コラムを連載。 ・管内市町と連携して街頭啓発を実施。(6日間) ・初めての試みとして与謝野町ケーブルテレビで啓発番組放送。 ・12月に各市町の広報紙で啓発実施。(京丹後市以外は新規)
	・京丹後市の自殺予防対策の他市町への拡大			○	・他市町に、広報、ゲートキーパー研修を拡大。(再掲)
消費者被害の迅速な問題解決を図ります。	①事例研究等により「消費者丹後あんしんチーム」消費生活相談員のスキルアップを図り、消費者被害案件を早期解決 (事例研究会の開催 24回) 【22実績: 24回】	◎	○	事例検討会の開催 24回 (100%) 月2回の事例検討会での議論を通して、相談業務の対応や業者との斡旋が促進された。 ・主に宮津市内で多発した高齢者の振り込め詐欺(8件)の対応策を、市町や金融機関、警察等と検討し、チラシ発行、防災無線、新聞折込等による啓発活動を実施。	
市町の地域防災計画の見直しを積極的に支援します。	①管内市町の地域防災計画の見直しを積極的に支援し、大規模災害時等の迅速な対応力を向上	◎	○	・国や府の状況についての情報提供、市町の取り組みに対する助言や指導を行った。 ・会議のほか、メールや電話等により、市町を含む関係機関との情報の共有化を図った。 〈津波関係〉 ・管内2市2町では、計画見直しを見据えて、波高10mの津波を想定した避難場所を選定し、防災訓練によりその検証を行った。 〈原子力関係〉 ・府の暫定計画(EPZ 20km)策定を受け、宮津市では『原子力災害住民避難暫定計画』を策定した。 ・管外市町等との計画策定に向けた情報交換会、研修会の開催、説明会の開催支援等を行った。 ・市町の防災訓練(スクリーニング)に参加し、その指導に当たった。	

23年度運営目標 目標達成(◎○)一覧 【丹後広域振興局】

達成区分(細目): 「◎」…目標達成(達成率100%以上) 「○」…概ね達成(達成率90%~100%未満) 「×」…未達成(達成率90%未満)

運営目標	目標の内容	達成区分		達成状況(3月末) (数値目標は件数・達成率を明記)
			細目	
治水対策を推進します。	①近年浸水被害が頻発している河川の改修整備の推進 ・岩屋川・加悦奥川(野田川支川)、福田川(上流部の用地買収着手) ・小西川(工事着手)等	○	○	・岩屋川及び加悦奥川は工事実施中、加悦奥川上流工区は用地単価提示 ・福田川は2月に新川橋完成。上流工区は3月に用地境界確定 ・小西川はH24工事着手
総合的な土砂災害対策等を推進します。	①砂防事業、急傾斜事業、治山事業の推進 ・砂防事業(工事推進10箇所、五万騎川(宮津市)など2箇所完了、1箇所工事着手) ・急傾斜事業(工事推進6箇所、河梨(京丹後市)など2箇所完了)	○	○	・砂防事業は、工事推進10箇所中、着手1箇所(柿ヶ成川) 完了2箇所(大橋川、五万騎川) ・急傾斜事業は、工事推進6箇所中、完了1箇所(弓木(与謝野町))、河梨(京丹後市) 出水期までに完成予定
	・砂防事業、急傾斜事業、治山事業の推進 - 治山事業による荒廃溪流の復旧整備 (復旧箇所 9箇所)		×	・8箇所発注済み(8/9=89%) うち 工事完了3箇所 工事中 5カ所(出水期までに完了 2箇所 台風シーズンまでに完了3箇所) 継続工事で未発注の1カ所は、台風シーズンまでに完了予定
	②土砂災害警戒区域等を新たに300箇所指定 (指定箇所数 1,247件)【22目標:250箇所 → 実績:231箇所】		◎	・年度内に335箇所指定する予定。(117%) ・今年度は504箇所の地元説明を実施。
災害と雪に強い道路ネットワークを整備します。	①国道178号の橋梁耐震性を向上する工事の推進 - 不動橋の耐震補強、水ノ江橋の架替	○	◎	・不動橋の耐震補強工事着手 ・水の江橋は架替完了
	②緊急輸送道路の強化 - 国道482号尉ヶ畑拡幅・丹後弥栄道路		◎	・尉ヶ畑拡幅は年度内完成 ・丹後弥栄道路は23年度予定工事実施中
	③冬場の幹線道路の安全性を向上させる工事の推進 - 国道312号(水戸谷工区)消雪パイプ工事 - 浜丹後線(中山工区)スノーシェルター工事完成		×	・国道312号(水戸谷工区)は消雪パイプ工事完了 ・府道浜丹後線(中山工区)は台風2号による降雨により被災、12月に災害査定を実施し復旧工事の発注準備中